

3月13日(火) 晴れ VS リソしす ①

「ちょっと様子を見に行ってくる」

俺は家族にそう告げ、家を出た。行き先は、一乗寺公園。
現在俺が工事を受け持っている場所だ。工事のため、公園の端をフェンスで囲っている。

公園に着くと、大學生が野球をしようとしていた。
どうやらスラッガーズというチームとリソしすというチーム
の試合らしい。両チームが軽く準備運動をしたあと、
試合は始まった。

先攻はリソしすだ。スラッガーズの投手はヒロシというらしい
が、初回は三者凡退に打ちとっていた。これは、審判のストライクゾーンが広いだけだけでなく、ヒロシの調子がいい
というのもあるようだ。どうやら彼は、練習試合には
強いが、公式戦は...という人間らしい。そして攻守
が替わり、リソしすが守備につく。そこで俺はある
違和感を覚える

「そうか、キャッチャーが左投げなんだ！」

左投げのキャッチャーを生で見たのは初めてだ。
感心しながら試合を見ていると、ボールがワンバウンド
でフェンスを飛び込んできた。どうやら森岡という

サイズの合っていないユニホームを着たやつが打ったらしい。
どうやらホームランにならなかったことを悔しがっているら
しいが、どうやら、俺達が設置したフェンスがなければ、
ただのセンターフライに過ぎなかったことを彼は理解して
ないらしい。

試合が進み、4回表、スラッガーズが一死三塁というピンチ
を迎えていた。ヒロミ投手は次のバッターを投ゴロに打ちとり、
飛び出した三塁走者を刺そうとしたが、捕手が
ボールをこぼし、走者を生還させてしまったのだ。ピッチャー
の目は、口以上に気持ちを如実にあらわしていた。
練習試合くらい勝たせてくれよ
キャッチャーもその思いを感じたようで、声が出なくなっていた。

5回に入ると、スラッガーズは選手を替えてきた。レフトには
近藤というみづなが教諭以が守りに2人で交替したところにボールは
よく飛びというが、このときも、三遊間を抜けてレフトに
ボールが飛んできた。が、彼は反応せず、後ろにそらした
ボールはセンターが拾っていた。そのプレーは、チーム全員から
裏の攻撃は近藤からだった。レフトを守れたかった彼と
しては、せめて無事に生還したいところだろう。ずれた眼鏡を
なおし、腰を左右にひねり、集中力を高めていく……しかし、
結果は三振で一死。彼はレフトだけでなく、命も守れなかったようだ。

その後、少々同情していると、試合が終わり、たよった。
 どうやらスラッガーズが勝たらしい。これなら森岡も
 近藤もそんなに責められないだろう。

カミさんにWDのお返しを何にしようか考えつつ、
 俺は帰路について。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
ヤクルト	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
スラ	0	3	1	3	0	0	1	0		8

- 1 (甲) 渡辺 捕ゴ 右安 (右) 四球 三ゴ 一ゴ 傳投ゴ (右)
- 2 (遊) 道斎 三ゴ 遊ゴ (右) K 渡辺 (右) 投ゴ 投ゴ
- 3 (三) 都塚 遊ゴ (右) K (右安) 高木 一ゴ 投ゴ
- 4 (三) 福井 K 遊ゴ (左安) (左安) 村尾 左飛 (右)
- 5 (捕) 森岡 (左二) 四球 投失 久野 K (右)
- 6 (右) 新村 三ゴ 四球 遊ゴ (右) K
- 7 (左) 中尾 四球 (遊安) 平松 三ゴ 四球
- 8 (一) 白井 三失 三ゴ (右) 一失 投飛
- 9 (投) 斎藤 四球 三ゴ 一ゴ 三失

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
リソシ	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
スラ	0	3	1	3	0	0	1	0		8

試合交代

試合

正下